

(様式2)

4 学校教育計画

項目		目標・方針及び計画	
(1)	進路支援	目標 計 画	面接を始めとして、生徒の実情に応じたきめ細やかな進路支援を学校全体で行う。授業の充実を学習活動の中心に据え、学年と教科が緊密な連携を図り、幅広い学力層に対応できる態勢を構築する。 (1) 面接週間に限らず、生徒の実態に応じて学期に2回を必須として、面接指導の充実を図る。 (2) 学科と教科が緊密に連携を取り合い、習熟度の応じた個別的・主体的取り組みを促すよう、自学課題のあり方を工夫する。 (3) 幅広い学力層に働きかけ、また学習活動が意欲的なものとなるよう、教科内で検討・総括を行う。
(2)	学校生活	目標 計 画	(1) 学校生活を生徒自身が主体的に取り組む集団の形成 (2) 生活の基本となる食の理解と習慣の定着 (1) 生徒会執行部、校紀委員会の主体的な活動を通して、望ましい校風の醸成を図る。 (2) HR活動を通じ、食の理解を深め、朝食をはじめとした食習慣の定着、質の向上を図る。
(3)	学校の活性化	目標 計 画	(1) どのような状況においても主体的な活動を心掛け、学校生活の充実に努める生徒の育成 (2) 読書活動の推進 (3) 校内や戸出地域を範囲とした様々な形のボランティア活動を通じて、奉仕の精神を養い、地域愛を育む。 (1) 学校行事・部活動の制約が多い中で、生徒が既存の枠組みにとらわれることなく、主体的に行動できる場面を設定する。 (2) ①朝読書の時間の有効的活用 ②図書館の広報活動（P O P、校内掲示板、図書だよりなど） ③図書館資料の除籍、廃棄 (3) ①ホームルーム活動等を利用したボランティア活動の機会の保障 ②生徒会によるボランティア活動の企画

項目		目標・方針及び計画	
(4)	キャリアデザイン・プロジェクトS	目標	(1) 将来の見通しを立て、さらに社会の問題について、グローバルな視点で物事を捉えることができる生徒の育成を図る。 (2) 互見授業参観を実施し、新課程実施に向け授業力を向上する。
		計画	(1) キャリアデザイン・プロジェクトSを工夫して、将来の目標が明確になるように企画する。また探究的な学習を充実させ、地域連携・高大連携にて課題研究・発表等を実施する中で、俯瞰して対象を捉え、探究しながら自己の在り方・生き方を問い合わせ続ける力を育成する。 (2) ①指定公開授業を行い生徒がタブレット端末を用いた授業を行うこととする。 ②他教科の授業を含めて、授業を2回以上参観する。 ③互見授業終了後、教科別授業研究会を開催し、3年間を見通した指導法を築き指導目標を共有するなどカリキュラム・マネジメントを行う。
(5)	I C T 推進事業	目標	教育クラウドを利用した教育活動の推進工程の達成
		計画	① ドメイン取得等初期設定 ② ガイドラインに沿った教育クラウド整備 ③ 1人1台タブレットの初期設定と配備に関する研究 ④ 個人情報等の管理すべき情報のリスト作成 ⑤ 整理ロッカー、袖机・ケース等の整備、職員室のゾーン設定 ⑥ desknet's 設定変更による改善と利便性の向上 ⑦ 管理者の育成 ⑧ Office365 教育クラウド利用、Teams、Forms に関する研修 ⑨ 1人1台タブレットを活用した授業に関する研究 ⑩ 教育クラウドを利用した授業改善・工夫に関する研修 ⑪ 情報セキュリティ研修 ⑫ 生徒の意識調査 ⑬ 教員の意識調査 ⑭ 教育クラウド導入・整備、情報セキュリティに関する視察の受け入れ ⑯ 次年度計画